

平成 28 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成 28 年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1807 名	うち海外在住外国人正会員 14 名
特別正会員	22 名	
団体正会員（公益）	72 口	
団体正会員	63 口	
学生会員	455 名	
名誉会員	16 名	
合 計	2435 名	

〔2〕運営に関する会議

1. 通常総会の開催

第 36 回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成 28 年 6 月 8 日（木） 13 時 00 分～13 時 29 分
- (2) 場 所 きゅりあん（品川区立総合区民会館）（東京都品川区）
- (3) 出席者 1,057 名
- (4) 議 題

- 1) 平成 27 年度決算（案）について
 - 2) 会費の改定について
- 報告 平成 27 年度事業報告

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第 110 回理事会

- 1) 日 時 平成 28 年 5 月 13 日（金） 10 時 30 分～12 時 30 分
- 2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）
- 3) 出席者 古米会長他理事 19 名、監事 1 名、幹事 1 名、オブザーバ 1 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 第 51 回年会について
 - イ. 入退会者等の承認
 - ウ. 各賞表彰（学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞、技術奨励賞）について

- エ. 通常総会の議案等（平成 27 年度決算（案）および事業報告）について
- オ. 就業規程の改定・制定について
- カ. 経理規程の改定について
- キ. 研究委員会の継続申請について
- ク. 京都会議記念基金による渡航費用助成候補者の選考について
- ケ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- コ. 各支部報告
- サ. その他

(2) 第 111 回理事会

- 1) 日 時 平成 28 年 9 月 13 日（火） 12 時 38 分～13 時 33 分
- 2) 場 所 秋田県立大学秋田キャンパス（秋田県秋田市）
- 3) 出席者 古米会長他理事 19 名、監事 3 名、幹事 4 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 入退会者の承認について
 - イ. 就業規程の改定について
 - ウ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - エ. その他

(3) 第 112 回理事会

- 1) 日 時 平成 29 年 3 月 16 日（木） 12 時 28 分～13 時 32 分
- 2) 場 所 熊本大学工学部 2 号館（熊本県熊本市）
- 3) 出席者 古米会長他理事 22 名、監事 3 名、幹事 7 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 入退会者等の承認
 - イ. 謝金等に関する規則の制定
 - ウ. 事務処理規則の改定
 - エ. 新たな研究委員会の設置
 - オ. 機関誌倫理規程の制定
 - カ. 機関誌編集規程の改定
 - キ. 平成 29 年度事業計画（案）と予算（案）について
 - ク. 理事・監事被選挙人名簿の承認
 - ケ. 総会における委任状および議決権行使について
 - コ. 理事就任依頼の手続きについて
 - サ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
 - シ. その他

[3] 運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

〔4〕 年会

第 51 回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

1. 開催日 平成 29 年 3 月 15 日(水)～17 日(金)
2. 場 所 熊本大学黒髪キャンパス (熊本市)
3. 参加者 1327 名
4. 一般発表：発表件数 680 件 (口頭 468 件+ポスター212 件) の他、特別講演会、企業展示、団体
会員説明会、各賞の発表と表彰が行われた。

〔5〕 シンポジウム

第 19 回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 開催日 平成 28 年 9 月 13 日(火)～14 日(水)、15 日は現地見学会
2. 場 所 秋田県立大学秋田キャンパス (秋田市)
3. 参加者 380 名
4. 18 の研究委員会と本部企画、支部企画によるセッションの他、企業展示、特別講演会、各賞の
発表と表彰が行われた。

〔6〕 国際会議

1. **Water and Environment Technology Conference 2016 (WET2016)**を開催した。

(一部は、水 ing 株式会社からの出捐事業であった。)

開催日 平成 28 年 8 月 27 日(土)～28 日(日)

場 所 中央大学後楽園キャンパス (東京都文京区)

2. 大韓環境工学会、嶺南大学環境問題研究所との共催で第 25 回日韓水環境シンポジウムを開催した。

(一部は、公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの助成事業であった。)

開催日 平成 28 年 10 月 24 日(月)、25 日(火)は視察見学

場 所 KKR 京都くに荘 (京都市)

3. 第 2 回日越シンポジウムを開催した。

開催日 平成 28 年 11 月 30 日(水)

場 所 メリアホテルハノイ(ベトナム・ハノイ市)

〔7〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“**Journal of Water and Environment Technology**”を発行し、科学技術振興機構 (JST)
が運営する J-STAGE 上で公開した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文編およびバックナンバーを科学技術振興機構 (JST) が運営する
J-STAGE 上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1～Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM
を販売した。

〔8〕 IWA 活動への協力

IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。

[9] 出版企画

“Water Pollution Control Policy and Management: The Japanese Experience” 改訂版の編集を行った。

[10] 支部活動

7支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー、見学会、表彰等を実施した。

[11] 研究委員会活動

20 研究委員会(嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、微生物生態と水環境工学、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、システム解析、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術)が、シンポジウムでセッションを企画するなどそれぞれ活動を行った。

[12] 表 彰

平成 28 年度の学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞(廣瀬賞)、技術賞、技術奨励賞、水環境文化賞、支部活動優良賞および学会設立 45 周年記念功労賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した(敬称略)。また、年会優秀発表賞、年会学生ポスター発表賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞、年間優秀論文賞および WET 優秀賞を選考し、次の各氏に授賞した(敬称略・50 音順)。

(1) 学会賞

該当者なし

(2) 学術賞

受賞者 にしじま わたる
西嶋 渉 (広島大学環境安全センター・教授)
対象研究 難処理性物質の除去機構の解明とその応用に関する研究

(3) 論文賞

受賞者 かめや たかし
亀屋 隆志 (横浜国立大学大学院環境情報研究院・准教授)
主要対象論文 Detection of Japanese PRTR Chemicals in a River Affected by Effluent from Industrial and Sewage Facilities
掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.13, 25-35 (2015)

(4) 論文奨励賞(廣瀬賞)

受賞者 いのうえ だいすけ
井上 大介 (大阪大学大学院工学研究科・准教授)
対象論文 Detection of retinoic acid receptor antagonist contamination in the aquatic environment of the Kinki region of Japan
掲載誌 *Water Research*, Vol.103, 58-65 (2016)

受賞者 かざま 風間 しのぶ (お茶の水女子大学シミュレーション科学・生命情報学教育研究センター・研究員)

対象論文 Temporal dynamics of norovirus determined through monitoring of municipal wastewater by pyrosequencing and virological surveillance of gastroenteritis cases

掲載誌 *Water Research*, Vol.92, 244-253 (2016)

(5) 技術賞

受賞者 みやた あつし 宮田 篤 (メタウォーター株式会社)

なかやま よしひこ 中山 芳彦 (メタウォーター株式会社)

いながき のりあき 稲垣 智亮 (メタウォーター株式会社)

なかむら ひろし 中村 浩 (メタウォーター株式会社)

きただ ごう 北田 剛 (メタウォーター株式会社)

対象技術 浮上ろ材を用いた合流改善高速ろ過技術

(6) 技術奨励賞

受賞者 みしま いおり 見島 伊織 (埼玉県環境科学国際センター)

よしかわ なおき 吉川 直樹 (立命館大学)

あまの こうじ 天野 耕二 (立命館大学)

よしだ ゆきひと 吉田 征史 (日本大学)

対象調査研究 下水処理施設由来の多元的環境負荷の統合評価手法

受賞者 にしかわ なおき 西川 直樹 (ライオン株式会社)

みとみ りゅうすけ 三富 龍介 (ライオン株式会社)

とりい ひろのり 鳥居 寛則 (ライオン株式会社)

対象技術 洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発

(7) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 永田川カエル倶楽部 (広島県江田島市)

対象活動 永田川流域における森・里・川・海の環境保全活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部 (みじん子賞)」

受賞者 益城町立飯野小学校 (熊本県上益城郡益城町)

対象活動 全校児童による地域の水環境に関する環境学習活動

(8) 支部活動優良賞

受賞支部 東北支部

対象活動 東北・水すまし賞授与を通じた社会文化活動の支援

受賞支部 関西支部
対象活動 「川歩き」を中心とした水環境情報の発信

(9) 日本水環境学会設立 45 周年記念功労賞 (28 名、3 団体)

いしかわ きよし いしかわ むねたか いのうえ たかのぶ えびせ せんいち えもと ただす えんどう ぎんろう
石川 清、石川 宗孝、井上 隆信、海老瀬 潜一、江本 匡、遠藤 銀朗、
かざま かどかみ きわお くずは やすひさ くにまつ たかお こうづき やすのり さいとう としあき
風間 ふたば、門上 希和夫、葛葉 泰久、國松 孝男、上月 康則、齋藤 利晃、
さこだ あきよし せきね まさひこ その きんや たかはら のぶゆき なかじま じゅん にしどめ きよし
迫田 章義、関根 雅彦、園 欣彌、高原 信幸、中島 淳、西留 清、
にしむら おさむ のがみ ゆうさく はなき けいすけ はらだ まさみつ ふじしま まさとし ほしかわ ひろし
西村 修、野上 祐作、花木 啓祐、原田 正光、藤嶋 正紀、星川 寛、
まつい さぶろう むろたに のりお やまだ はるみ よご のりあき
松井 三郎、室谷 憲男、山田 春美、余湖 典昭

日本石鹼洗剤工業会、日立造船株式会社、株式会社フジタ 技術センター

(10) 年会優秀発表賞及び年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

1) 年会優秀発表賞

ABU BAKAR NUR ADLIN BINTI (長岡技術科学大学大学院)

いけだ ゆう
池田 雄 (茨城大学大学院)
おくやま ゆう
奥山 優 (北海道大学大学院)
かみやま かずや
神山 和哉 (東北大学大学院)
こばやし まき
小林 真季 (山梨大学大学院)
さとう たけみ
佐藤 丈実 (東北大学大学院)
しまむら まさと
島村 誠人 (東京農工大学大学院)
なかじま みさき
中島 美咲 (東京大学大学院)
なべたに よしき
鍋谷 佳希 (京都大学大学院)
にしむら ゆうき
西村 勇輝 (北海道大学大学院)
はやし きょうへい
林 恭平 (東北大学大学院)
まがた さやか
馬形 さやか (大阪大学大学院)
ましこ さやか
増子 沙也香 (茨城大学大学院)
みすみ きょうへい
三角 恭平 (東京大学大学院)
ものい けんたろう
物井 健太郎 (東北大学大学院)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の 15 名に「年会優秀発表賞」を授与した。)

2) 年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

かなざわ すい
金澤 推 (金沢大学大学院)
ふじたに ひろつぐ
藤谷 拓嗣 (早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構・次席研究員)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の2名に国際会議発表の旅費等を助成した。)

(11) 年会学生ポスター発表賞 (◎：最優秀賞)

いけだ さとし	池田 聡	(東北大学)
いとう ゆり	伊藤 友里	(山梨大学)
いわの ひろし	岩野 寛	(東北大学)
うしじま たいし	◎牛島 大志	(京都大学)
おおつ りかほ	大津 里香保	(熊本大学)
かすや まり	糟谷 まり	(北里大学)
こうりき さとし	高力 聡史	(北海道大学)
しかの こうへい	鹿野 滉平	(東北大学)
すがわら こうたろう	菅原 巧太郎	(秋田県立大学)
たかぎ たつま	高木 達馬	(北海道大学)
なかじま たいすけ	中畠 泰介	(東京大学)
にしむら えみ	西村 恵美	(宮崎大学)
はぎはら たつや	萩原 達也	(豊橋技術科学大学)
ひらの せいや	平野 誠也	(北海道大学)
まつなが こうじ	松永 光司	(中央大学)
まるやま ちか	丸山 千賀	(新潟薬科大学)
やまぐち たくろう	山口 拓郎	(北海道大学)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の17名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(12) 博士研究奨励賞 (◎：最優秀賞)

いー そんて	李 善太	(京都大学大学院)
たのうえ るみ	田上 瑠美	(愛媛大学大学院)
にしやま まさてる	◎西山 正晃	(宮崎大学大学院)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第19回シンポジウムで発表した上記の3名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(13) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

Yun LU	(Tsinghua University, China)
Chang WANG	(Tianjin University of Science and Technology, China)
Am JANG	(Sungkyunkwan University, Korea)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第51回年会で研究発表を行った上記の3名の海外

在住外国人会員に対し、「水環境国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。）

(14) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

該当者なし

(15) 年間優秀論文賞

受賞者 こまい ゆきお いりづき としあき つじもと あきら
駒井 幸雄*、入月 俊明 **、辻本 彰 ***

*大阪工業大学工学部、**島根大学大学院総合理工学研究科、***島根大学教育学部

対象論文 炭素・窒素安定同位体比とメイオベントス相から見た瀬戸内海の底質環境の変遷

掲載誌 水環境学会誌, Vol.38, No.2, 39-47 (2015)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に平成 27 年「年間優秀論文賞」を授与し、第 19 回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に旅費等を助成した。)

(16) WET 優秀賞

1) WET Excellent Paper Award (WET 優秀論文賞)

対象論文 Chlorine Dose Determines Bacterial Community Structure of Subsequent
Regrowth in Reclaimed Water

受賞者 Shwetha ACHARYA, Futoshi KURISU, Ikuro KASUGA, Hiroaki FURUMAI
(The University of Tokyo)

対象論文 Dissolution Tests and Microbial Community Analysis Using the Bottom
Sediment before and after a Heavy Storm

受賞者 Ikuo TSUSHIMA, Yoshiyuki SHIBAYAMA, Koya KOMORI, Seiichiro
OKAMOTO (Public Works Research Institute)

2) WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

Mari ASAMI (National Institute of Public Health)

Thi Kinh CO (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Thanh-Loc Thi DANG (Yamaguchi University)

Fumi HASHIMOTO (Kagoshima University)

Ze LIU (Chuo University)

Xueqin LU (Tohoku University)

Cervinia Velasco MANALO (Hiroshima University)

Soichiro MATSUZAKI (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Karla Marlene MENA AGUILAR (Chiba University)

Masahiro MIKAWA (Chiba University)

Shun MOTEGI (Saitama University)

Masateru NISHIYAMA (University of Miyazaki)

Takashi ONODERA (National Institute for Environmental Studies)

Phanwatt PHUNGSAI (The University of Tokyo)

SHANKAR SHRESTHA (University of Yamanashi)

Yanlong ZHANG (Tohoku University)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2016 の参加者のうち、上記 16 名の発表者に「WET Excellent Presentation Award」を授与した。WET2016 での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2017 で授与される。)

[13] 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA 活動への協力などを行った。国際連携会員の拡大に努めた。

また、国際会議参加援助として、京都会議記念基金を基に、佐久間美紀氏（木更津高等専門学校）^{さくまみき} に対して平成 28 年 10 月 9 日～14 日にブリスベン（オーストラリア）で開催された The IWA World Water Congress & Exhibition 2016 Brisbane 参加のための渡航費用等を助成した。

[14] その他の事業活動

1. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第 25 回市民セミナー

- 1) テーマ 温暖化、水とくらしはどうか？ どうする？ (Ⅲ) ～生活目線での適応策～
- 2) 開催日 平成 28 年 8 月 5 日 (金)
- 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール（東京都世田谷区）
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール（大阪市住之江区）
- 4) 参加者 東京会場 68 名、大阪会場 32 名

(2) 第 62 回日本水環境学会セミナー

- 1) テーマ 生物を用いた水環境の評価・管理(改善)手法(日本版 WET)の最新動向と今後の展望
- 2) 開催日 平成 29 年 1 月 30 日 (月)
- 3) 場 所 自動車会館大ホール（東京都千代田区）
- 4) 参加者 93 名

2. 見学会の実施

第 31 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成 28 年 11 月 18 日 (金)
- 2) 場 所 アサヒビール茨城工場（茨城県守谷市）
農林水産省植物工場 千葉大学拠点（千葉県柏市）
- 3) 参加者 16 名

3. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第 40 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 28 年 7 月 8 日 (金)
- 2) 場 所 日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)

- 3) テーマ 水質モニタリングの新技术と災害時の緊急対応について
- 4) 参加者 28名

(2) 第41回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成28年12月19日(金)
- 2) 場所 日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
- 3) テーマ 下水処理制御用のアンモニアセンサーおよびオンライン水質センサーの最新動向
- 4) 参加者 21名

4. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携体」参加学会として、防災学術連携シンポジウムのセッションに参加した。